

令和4年度 コミュニティから「市政へのご提言」

城坤 コミュニティ

<p>提言項目①</p>	<p>通学路における児童の安全確保について</p>
<p>提言理由・内容</p>	<p>城坤小学校に通学する児童の保護者から「通学路の道路標示が経年劣化、摩滅等により判別が困難な箇所が散見される」旨の連絡があった。</p> <p>道路標示は、道路交通の安全と円滑を図るため道路利用者（自動車の運転者、歩行者等）に対して案内、警戒、規制または指示の情報を伝達することにある。</p> <p>定期的にメンテナンスをしていれば事故が発生しないとは断言できないが、2021年（令和3年）6月28日15:30ごろ千葉県八街（やちまた）市で小学生の列に飲酒運転のトラックが突っ込み、児童5人が死傷した事故のようなことを当地において発生させてはならない。</p> <p>児童の安全を守る（担保する）環境整備の方針（校区内の総点検・改善への取組み）を策定し喫緊に対処願いたい。</p>
<p>回答</p>	<p>建設課では、通学路への安全対策として、通学路のカラー化事業（グリーンの着色）を実施しましたが、実施から既に6年～8年経過し、色落ちした箇所が見られることから、本年度より塗り直しを行っております。城坤小学校区内についても、塗り直しが必要な箇所については、グリーンの再着色を予定しています。この他の路面表示については、パトロールや市民の皆様から寄せられる情報を参考に、塗り直し作業などを行っています。なお、路面標示は、市の建設課のほか、香川県や国、警察が設置するものなど多岐にわたりますが、お気づきの不良箇所がございましたら、建設課まで通報いただければ各管理者に引き継ぎたいと思います。</p>
<p>提言項目②</p>	<p>中津海水浴場の復活</p>

<p>提言理由・内容</p>	<p>中津運動公園の海岸の浜にはかつて中津海水浴場があった。夏は大人も子どもも多く多くの市民が海水浴に興じた。栈敷席もあったし、たこ焼き・カキ氷等の屋台も賑わい、楽しみを盛り上げた。プールの整備や海岸埋立・水質悪化の影響か、やがて廃止になり、その後は長らくゴミが散乱し荒廃していたが、近年の近隣住民・小学生たちの清掃活動により当時の海岸の様子が甦ってきた。海岸の地形はほぼ変わっていないので、飛込み台がない以外は往時の海水浴場と変わらない。隣接する海岸には遥か沖まで埋立地ができたが、海水の透明度などは変わらないように感じる。地続きの金倉川河口の遠浅の干潟では今も魚介類の生息が豊富で、心地よい砂地の上で幼児でも安全に海遊びに興じることができる。</p> <p>海水浴場を復活することで、子どもたちに①潮の干満・潮流の実際、②海の生物の生態、③川・海のゴミ投棄による環境汚染の実態を実際に学ばせるとともに、ふるさとの自然に親しむことで郷土愛を醸成することが期待できる。</p>
<p>回答</p>	<p>ご提言にもありますように、丸亀市史によれば、中津海水浴場は戦前から市民に親しまれた海水浴場であったようです。しかし、南海地震での地盤沈下や周辺の海辺の埋め立てなどで次第に客足が遠のき、昭和42年に廃止されたと記載されています。</p> <p>近年、海水浴客はレジャーの多様化により、全国的に減少しており、それに伴い、海水浴場も減少傾向にあります。</p> <p>海水浴場は脱衣場やシャワーなどの設備や、軽食や休憩場所等の施設整備が想定され費用が必要となります。また、必要な工作物を設置する場合は、海岸法により海岸管理者（県など）の使用許可が必要です。</p> <p>これらのことから、中津海水浴場の復活は難しいと考えております。丸亀市には、本島・広島に海水浴場があります。また、海岸は海水浴や釣りなど、誰でも自由に使うことができますので、ライフスタイルに応じた自然に親しむ機会を設け、郷土愛を培っていただきたいと思います。</p>
<p>提言項目③</p>	<p>下真島海水浴場の設置</p>

<p>提言理由・内容</p>	<p>埋立地が多い高松～詫間間は自然海岸の海水浴場が姿を消してしまっただが、その中であって海水浴場として優れた立地を有するのが昭和町（埋立地）先端にある下真島である。元々は海岸から約 1.7 kmの沖合いにあった離れ小島であったが、今は埋立地の先端から僅かに離れた形になっている。この場所は潮通しがよいため水質は沖合いの島に匹敵し、海岸には砂浜もあるので、海水浴場として好適と思われる。また近くにある防波堤を海釣り公園化し、一体的にリゾート施設として整備することも可能と思われる。丸亀の魅力は瀬戸内海の存在が大きかったが、最近海は遠い。将来を担う若者たちに郷土で楽しい思い出を沢山持ってもらうことは長期的な人口問題にプラスになると思われる。そういう点で郷土の魅力向上のために検討をお願いする。</p> <p>実現するには、早い潮流から海水浴客を守るための防波堤の設置、岸壁から島へ降りるための施設、埋立地側の駐車場・店舗のスペース確保・企業との調整が必要となる。</p>
<p>回答</p>	<p>「中津海水浴場の復活」のご提言へ回答いたしましたとおり、近年のレジャーの多様化により、海水浴客、海水浴場とも全国的に減少しており、今後もその傾向は続くと考えられます。</p> <p>また、昭和町付近は多くの企業が事業活動を行っており、土地についても民有地部分があることから、レジャー施設として整備する環境には適していないと考えています。</p> <p>今秋には、瀬戸内国際芸術祭が本島会場で開催されます。今後も、このような機会をとらえて瀬戸内海の魅力を発信したいと考えております。</p>
<p>提言項目④</p>	<p>クラボウ丸亀工場跡への県立武道館の誘致</p>

<p>提言理由・内容</p>	<p>クラボウ丸亀工場は令和元年春に廃止になり、昨年 6 月には更地になっている。クラボウは貸出の方針（本社確認済み）であるが、これまでのところ商談はあったが実現に至らずと聞こえており、現在も空き地のままである。この場所は丸亀駅から約 600m（直線）、浜街道及び南北 4 車線道路に接する交通至便な土地であり、56 千㎡の形状の良い広大な敷地を有することから、何らかの公共的な施設の設置場所として、貴重な用地と考えられるが、都市計画上は現在も“准工業地域”のままに置かれている。これほどの大規模物件は滅多にないと思われるだけに、どこが進出してくるかは地域にとっても重要関心事である。地元として歓迎しない施設もあるが、公共施設ならば安心であり、地域の活性化も期待できる。一方周辺地域は古くからの住宅密集地で、道路幅がすれ違いができないほど狭いところがあるなど全般的に通行しづらいこと、宅地が狭く駐車場が設けられないなどの問題があり、城坤コミュニティの中でも最も人口減少が進行している（13 年間で約 2 割減少）地域になっている。公共施設であれば敷地の一部を用いて住宅環境の改善も実施しやすい。この地域の人口減少が止まれば、コンパクトシティ化の推進（住宅地を拡げない）にも繋がるので、積極的に推進してもらいたい。</p>
<p>回答</p>	<p>ご提言いただいているクラボウ丸亀工場跡については、丸亀駅からも近く、約 5 ヘクタールとの広大な敷地であり、民間利用も含めて有効活用が望まれる用地であると考えております。</p> <p>そこで、香川県立武道館の誘致についてでございますが、香川県教育委員会に問い合わせたところ、現在、武道館建替えの計画はないとのことでした。</p> <p>そうしたことから、今後とも県の動向については注視してまいります。現時点においては、市として誘致活動を行う環境が整っていないと考えております。</p>
<p>提言項目⑤</p>	<p>丸亀市歌「城のある町」の活用について</p>
<p>提言理由・内容</p>	<p>丸亀城へ訪れた人の耳にこびりつくぐらい連日、ずっとこの曲を流し続けてほしい。とてもいい曲だし、お金もかけているからもっと活用しないと。毎日訪れる市民には、口ずさむくらいなじみのあるものにしてほしい。観光客にも耳に残してもらえればと思う。</p> <p>夕方の「夕やけこやけ」の代わりに、オルゴールのようにこの曲を流してほしい。できれば「サヌカイト」演奏がベスト。</p> <p>（例）三豊市ではお昼に三豊の歌が流れている。</p> <p>（例）函館市では五稜郭で一日中聞こえている。</p>
<p>回答</p>	<p>「城のある町」は、旧丸亀市の市制 100 周年を記念して、平成 11 年に発表された市のイメージソングです。現在この曲については、主に市役所本庁舎において、業務の終了時に流されており、市職員はもとよりご来庁の市民の皆様にも耳にいただいているものと思いま</p>

	<p>す。</p> <p>ご提案のお城で曲を流し続けることや「夕焼け小焼け」に代わるものとしての使用することにつきましては、曲を知っていただく機会のひとつでありますので、まずは関係部局と使用にあたっての条件面や課題等の整理を行いたいと考えております。</p> <p>また、サヌカイトによる演奏につきましても、曲の使用の幅を広げることにつながる取組みとして、あわせて検討して参ります。</p>
<p>提言項目⑥</p>	<p>駅からお城までの商店街の活性化</p>
<p>提言理由・内容</p>	<p>駅からお城まで行く間に、うどん県と言われるにはお粗末なほど「うどん屋」が少ない。お客様を駅で出迎えた際、「うどん県に来たからまずうどん」と言われてもうどん屋が少ない。いわゆるセルフのうどん屋はほとんどない。「売り」のセルフが。</p> <p>郊外へ行けば色々あるが、これから高齢化で免許返納の人も増えて旅行は列車利用に移行すると思う。その為にも駅利用客をもっと重要視すべき。</p> <p>それと「骨付き鳥市」ならば骨付き鳥のお店も、うどん屋と軒を連ねて有名店が並べば市も活性化すると思う。</p> <p>お城は観光地です。市役所や市民会館など市民のための施設より、丸亀市を外へアピールするように検討してもらいたい。</p> <p>今更遅い部分もありますが、市役所の職員が一等地で仕事をするのは私は反対でした。お城の周りは今でも駐車場不足です。市長や市議会議員、さらに市役所の職員は確保されているからわからないのですが、一般庶民は何かイベントがあるとまず駐車場の心配からします。お城の観光客も然り。恥ずかしいほど駐車場が少ない。</p> <p>城下町の良さをもっと前面に出して古い街並みや武家屋敷の再現、歴史資料館を作り、観光をもっと大切にしてほしい。収入源にもなる。市民が自己満足のように一等地でお金を使っても効果はあまりないと思います。他の地方へ行くと立派な歴史資料館に圧倒され、丸亀の資料館はあのままではとても恥ずかしい。</p>
<p>回答</p>	<p>商店街の活性化については、商店街のイメージアップを図り、市民や観光客などの交流人口の増加を推進するため、本市では、商店街を含む中心市街地域にうどん店等の様々な店舗やオフィスを誘致するため、「空き店舗空きオフィス活用促進補助金」の制度を設けているとともに、アーケードの修繕などの環境整備等についても補助しており、徐々にではございますが、空き店舗率も低くなってきております。</p> <p>また、本市のシンボルである丸亀城のPRについては、三の丸にある延寿閣を改修し、お城で宿泊できるよう整備を行い、アフターコロナ期に向け「城泊」事業を進めているところであり、観光客等の駐車場についても市役所周辺の整備計画に基づき、市民会館や市民広場と併せて整備してまいります。</p> <p>なお、丸亀市立資料館は、昭和47年に開館し50年を経て、施設の設</p>

	<p>備の問題や収蔵スペースの限界など、様々な課題を抱えておりますが、将来的には、昨年度策定した「史跡丸亀城跡保存活用計画」により、資料館の整備や今後のあり方について検討していく予定です。</p>
<p>提言項目⑦</p>	<p>道路の安全対策のお願い</p>
<p>提言理由・内容</p>	<p>2021年7月8日の朝 大雨のため道路が冠水しました。 住民が安心して通れるよう対策をお願いします。</p>
<p>回答</p>	<p>昨年7月の大雨では、短時間に大量の降雨があり、浸水実績が少ない箇所でも道路冠水が発生し、今回写真の提供を受けた箇所も同様の状況でした。このことを受け、現在、丸亀市では、浸水箇所周辺にある水路の現況調査を実施し、どのような対策が取れるか検討を行っています。しかしながら、このような対策には一定の時間を要しますことから、今後、同様の事象が発生するようであれば、冠水時に道路と水路の境界が確認できるようポールなどの設置を検討したいと思っております。</p>